

2021年度 専門学科・総合学科推薦入試 小論文  
【経営学部】

受験番号								氏名	

次の文章を読んで、「新型コロナウイルス終息後の未来」について、各自が予測することを300字以上、600字以内で記載しなさい。

「with CORONA」、「after CORONA」がメディアを通じて頻繁にわれわれの耳に入るようになった。新型コロナウイルスの感染拡大が叫ばれる以前とでは、われわれ消費者の生活習慣も大きく変わってしまった。政府や金融系シンクタンクが発表する企業財務データの分析では、主要企業を中心に3社に1社で最終損益が赤字となった。特に都市封鎖による影響から、昨年まで好調だった自動車や小売り、サービス業などが業種全体で赤字に転落した。逆に、新型コロナウイルスによる社会変化で需要が増えた3割の企業では、利益が伸び、成長企業の主役交代が加速している。

われわれ消費者の生活習慣で最も大きく変わったのはテレワークの普及と言える。商業ビルなど不動産の借り手の顔ぶれが大きく変わり始め、営業休止や時短営業が続いた飲食店向けの賃貸物件は、複数の企業、他業種が集まるシェアオフィスへと変貌し、住んでいる街の風景が一変する可能性が出てきた。全国的には、首都圏中心のオフィス、本社機能を地方へ移転する大手企業が出始め、テレワークにより入社せずとも仕事をこなすスタイルが普及・定着してきた。あちこちに中小規模のオフィスを持つネットワーク型企業が主流となりつつあり、自宅勤務の閉鎖感よりもテレワークオフィス利用による公私区別の仕事スタイルを好むようになってきた。

大学機関も変わる。教育手法がリモート授業など従来の教室型の授業形態から授業方法が遠隔へと多様化されると同時に、キャンパス内にワークオフィスの場を提供する大学機関も出てきた。キャンパスに事業会社が入り、多くの社会人と共にキャンパスという場を共有することは学生にとって大きな刺激にもなる。

社会は思いがけない契機で一変してしまい未来は予測不能になった。しかし、新型コロナウイルスが猛威を振るう前の社会・経済のグローバル化、インバウンドによる観光地の賑わい、大都市部の過密化などの全てが、最善の未来図であるとは言えないかもしれない。